

平成26年9月7日
今週のベストショット



青松園A 奈多サンデーズ 対 三苦フレンズ戦

2年ぶりのHR王へ！1試合3HRを放った奈多サンデーズ田中俊弘選手。

写真：三苦ホーネッツ 永島貴文

青松園B 大量得点でジャガーズ快勝！！

ブルーマーリンズ（0勝10敗）01000 1 綱脇●、横山ー井上広

塩浜ジャガーズ（2勝6敗）1882x 19 荒木○ー堀内

HR：橋本（塩浜ジ） 3BH：荒木（塩浜ジ） 2BH：水流（塩浜ジ）盗塁：荒木、橋本、田中（塩浜ジ）

8月にはなかなか見られなかった快晴の空の下、試合がスタート。一回裏と二回表、両者は相手のワイルドピッチでそれぞれ1点ずつ獲得する。このまま投手戦で試合が進んでいくかと思いきや、二回と三回にチーム打率3割を超えるジャガーズ打線が爆発！逆転した後も容赦なく得点を積み重ねた。四回には水流監督自ら打席に立つ「代打オレ」を発動。見事レフト線への2ベースヒットを放った。気がつくや全インニング得点の19点で大勝。先発の荒木投手は、序盤は得点圏へ進塁を許す場面も見られたが、尻上がりに調子を上げ被安打1の好投。投打共に次の試合へ勢いをつけることができた。ブルーマーリンズは打線に関してはランナーを出すも後続が倒れるシーンが目立ったが、守備に関しては二十代の井上優遊撃手の好守が光っていた。若手が躍動し、次節は良い結果を残せることを期待したい。（記事、写真：新町パイレーツ 安部貴大）



1安打1失点に抑えたジャガーズ先発 荒木投手。



ブルーマーリンズ先発 綱脇投手



レフト線へ三塁打を放ったジャガーズ荒木選手。



「代打オレ」で二塁打を放ったジャガーズ水流監督と右中間にHRを放った五番橋本選手。



HRを放った橋本選手。仲間達に唆されながら一枚。バット逆ですが・・・

青松園A 奈多サンデーズのHR攻勢で圧勝！！

奈多サンデーズ（7勝1敗1分）36405 18 塚本○、木下ー長浜

三苦フレンズ（0勝9敗0分）20000 2 肥喜里●、生野（拓）、肥喜里ー御手洗

HR：田中（俊）3、長浜、大川、守仲（奈多サ）3 BH：長浜（奈多サ）

2BH：鳥羽（奈多サ）寺山（三苦フ）盗塁：大川3、木下、野々下、鳥羽（奈多サ）

一回表奈多サンデーズは、連続四球と盗塁等で無死二三塁とし三番田中（俊）選手の3ランで先制。続く四番野々下選手も中堅越えの大飛球で連続本塁打と思われたが、足場が悪い中馬崎中堅手の滑りながらのファインプレーで嫌な流れを止めた。その裏フレンズは、サンデーズ塚本投手の立ち上がりを攻め、二死三塁から四番西山選手の中堅前適時打、続く五番寺山選手の二塁打で二点を返した。しかしそれでサンデーズ打線に火が付いたのか、二回表この回先頭の八番鳥羽選手の右中間二塁打から猛攻が始まり守備の乱れも続き得点を重ね、一死一三塁で五番長浜選手の3ランで6点、三回表も無死三塁から三番田中（俊）選手の2ランもあり4点と試合を決めた。フレンズも二回途中から生野（拓）投手に交代し流れを変えようとしたが、サンデーズの勢いは止められなかった。五回表もサンデーズの攻勢は続き、九番守仲選手と一番大川選手の二者連続本塁打、圧巻は三番田中（俊）選手の本日3本目の本塁打も出てダメ押しの5点を追加した。何とか反撃したいフレンズであったが、塚本投手が立ち直りサンデーズ守備陣の好守で二回、三回と三者凡退に抑えられ、さらに四回から継投した木下投手の好投もあり追加点は奪えなかった。結果的には18対2とサンデーズの圧勝に終り、サンデーズ打線の14安打（うち6本塁打）はさすがだが、フレンズ投手陣の11四死球が影響したのか守備のリズムが崩れ、要所での失策が大量失点に繋がってしまったのが敗因であった。（記事、写真：三苦ホーネッツ 永島貴文）



一回表、大飛球を滑りながらキャッチしたフレンズ馬崎選手。



一回裏、打線が繋がりに生還するフレンズ生野(拓)選手。



一回裏、二塁打を放ち笑顔のフレンズ寺山選手。



二回表、3ランを放ったサンデーズ長浜選手。



フレンズ二宮選手を幾度となく鋭い打球が襲ってきた。



好守でヒット性の当たりを何本も遮った、サンデーズ大川選手。



三回表、中堅からの送球でタッチアウト！



本日3本塁打で笑顔のサンデーズ田中(俊)選手。



ゲームセット！お疲れ様でした。



本日のホームラン打者（左から大川選手、守仲選手、3本塁打の田中（俊）選手、長浜選手）

雁レク軟式5 レッドサンデーズ八島選手の一振りで試合を決める！！

三友クラブ（3勝6敗1分）000000 0 足達●ー谷崎

レッドサンデーズ（5勝3敗）000001 1 江口○ー荒口

3BH：江口（レッド） 盗塁：松尾（三友ク） 土師（レッド）

三友クラブ対レッドサンデーズの試合は、見事な投手戦となる！三友クラブは初回から三回までレッドサンデーズ江口投手の素晴らしいピッチングに三塁も踏むことすらできなかった！三回裏レッドサンデーズも三友クラブの足達投手の見事なピッチングに簡単に二死になるが、江口選手が左中間を抜ける三塁打を放つ。しかし、ここで後一本が出ない。その後も互いにチャンスを作るがホームが遠い。試合が動いたのは、六回裏だった。レッドサンデーズ江口選手が四球で出塁すると、WPと土師選手のショートゴロの送球間に一死三塁にすると、ここで四番八島選手。2ストライクからのチェンジアップをレフトへの犠牲フライで四番の仕事をきっちりこなす！次の回、逆転したい三友クラブであったが、レッド攻撃中に時間が来て試合終了！とても、緊張感のある試合で、見ている方も手に汗握る試合であった。（記事：奈多フェニックス 西藤圭介、写真：今林孝）



1点も許さなかったレッド江口投手は打っても活躍。



素晴らしい投球だった三友クラブ足達投手。



鋭い打球を放つ三友クラブ松尾選手。



セカンドライナーゲッターとなった駄原選手。



六回裏、江口選手を進めるレッド三番土師選手。



六回裏、決勝の犠牲フライを放つレッド四番八島選手。

雁レク軟式7 投手戦の末、奈多クラブが終盤に逆転！

新町ウインズ（5勝5敗2分）0001000 1 藤田●ー永渕

奈多クラブ（8勝2敗0分）000002× 2 今林（瑠）○ー安河内

2BH：今林（賢）（奈多ク）盗塁：今林（祐）（奈多ク）

和白リーグを代表する好投手を擁するチーム同士の対決となった。投手戦が予想されたが、予想通りの試合展開となった。試合が動いたのは四回表、ウインズは一死から二番安藤（一）選手の内野安打、三番永渕選手のレフト前安打でチャンスメイク。続く四番藤田選手が粘った末に四球を選び、一死満塁とする。それでも奈多クラブ今林（瑠）投手は続く五番城戸選手を三振に打ち取り苦しみながらも二死とする。しかし、六番泉選手にフルカウントから投じた一球は高目にわずかにはずれ、四球となり押し出しでウインズが先制をする。このままウインズが逃げ切るかと思われたが六回裏、奈多クラブ先頭の今林（賢）選手がレフト線への安打を放ち好走塁で二塁まで到達。無死二塁のチャンスをつくると、続く二番今林（瑠）選手の放った打球は左中間へ。これを見て二塁走者の今林（賢）選手は一気にホームへと走る。タイミングはきわどかったものの、中継をしたウインズの遊撃手長岡選手の悪送球により、ランナーは生還。さらにはこのプレーがボールデッドとなりこのときすでに二塁を回っていた打者走者の今林（瑠）選手も生還し、逆転のホームを踏む。その後、今林（瑠）投手は四球で走者を一人出すものの、きっちりゼロで抑えてゲームセット。好投手二人による見応えのある好ゲームも今林（瑠）投手の投打にわたる活躍で奈多クラブが勝利を手にした。（記事：雁ノ巣ライナーズ 明瀬 旭 写真：今林 貢）



今林（瑠）選手はウインズ打線を相手に1失点の抑える好投を見せた。



好投するも逆転負けを喫したウインズ藤田投手。



この日12奪三振！永瀨選手のバットは空を切る。



四回表、先頭でチャンスメイクした安藤（一）選手。



先制点となるホームインの安藤選手。



三遊間の深い当たりをアウトにする奈多クラブ上野遊撃手。



六回裏、先頭の今林賢人選手の放った打球はレフトへ。



好走塁で二塁まで到達。今林賢人選手。



センターへ同点となる適時打を放つ今林瑠生選手。



勝利の立役者、今林瑠生投手と今林賢人選手。

第18週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第18週、9月7日は4試合が行われました。

青松園Bのブルーマーリンズ対塩浜ジャガーズ戦は、8安打16四死球で毎回の19点を挙げたジャガーズが、荒木投手の好投でブルーマーリンズ打線を1安打に抑え、1-19で勝利。二回のジャガーズ四番荒木選手、五番橋本選手の連続長打が光った。ブルーマーリンズは四死球で自滅して大量失点に繋がっている負の連鎖をそろそろ断ち切らないと、今シーズン残り3試合ですよ。せめて接戦に持ち込みましょう。

青松園Aの奈多サンデーズ対三苦フレンズ戦は、サンデーズの代名詞でもあるホームランが6本飛び出し、塚本投手がフレンズの攻撃を初回の2点に抑え、18-2で勝利。中でもサンデーズ三番田中俊弘選手は3HR7打点の荒稼ぎでHRと打点の2冠。一番大川選手、五番長濱選手、九番守中選手にも一発が飛び出し、どの打順も気が抜けない。

雁レク軟式5の三友クラブ対レッドサンデーズ戦は、初回から投手戦・・・いや貧打戦(線)。お互い3安打の試合は両投手の踏ん張りもあり0行進。最終六回裏、この日唯一2安打と当たっていたレッド江口選手が四球で出塁し、一死三塁として四番八島選手のレフトへの犠牲フライで勝負あり。逆スミ1で昨年ボロ負けした三友クラブに雪辱を晴らした。

雁レク軟式7の新町ウインズ対奈多クラブ戦も投手戦。四回表に押し出して1点を先制するウインズだったが、最終六回裏に奈多クラブが一番今林賢人選手からの好打順で、二塁打と二番今林瑠生選手のタイムリーにエラーが絡み逆転で辛くも奈多クラブが勝利を収め、優勝戦線に踏み止まった。奪三振率 10.79 のウインズ藤田投手から3つしか三振を取られなかった打線のしぶとさも勝因のひとつか？

9月に突入して、残り試合と共に優勝争いも意識しだす時期になりました。

現在、1敗1分が奈多サンデーズと三苦ホーネッツ

2敗0分が雁ノ巣ライナーズと奈多クラブ

2敗1分が奈多フェニックス

3敗0分がレッドサンデーズと三苦三球会

勝ち点(勝ち2点、引き分け1点、負け0点)と残り試合数が、

雁ノ巣ライナーズ:勝ち点18(2試合)

奈多クラブ:勝ち点16(3試合)

奈多サンデーズ:勝ち点15(4試合)

三苦ホーネッツ:勝ち点13(5試合)

奈多フェニックス:勝ち点11(5試合)

レッドサンデーズ、三苦三球会:勝ち点10(5試合)

また、個人タイトルも気になります。

季節も良くなり、うだるような暑さも影を潜め、最高のパフォーマンスを出せる季節です。
どのチームが、どの選手が中秋のスーパームーンのように大きく輝けるのか？

本日(9月13日)の運営会議後の「第4回Go! Do! 飲み会」に参加される方は、中間成績を肴(さかな)に盛り上がって、明日以降の終盤戦に臨みましょう!